

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		95100		スポーツライフ推進事業費	担当課	市民活動部 スポーツ推進課			内線
		専任							
予算	会計	1	一般会計		総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費			分野	3	スポーツ	
	項	5	保健体育費			基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	
	目	1	体育総務費			施策	1	スポーツ活動の充実	
根拠計画			高山市第三次スポーツ振興基本計画						
実施計画事業			スポーツライフ推進事業						
市長公約									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	スポーツ教室やスポーツ大会等の開催により、スポーツ活動を推進する 一流選手とのふれあいにより、子どもたちに夢を与え、スポーツに取り組むきっかけづくりを行う		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ教室やスポーツ大会等の開催 子ども夢創造事業の実施		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・直営(支所地域含む)及びスポーツ推進委員会への委託によるスポーツ教室等の実施 ・FC岐阜及び飛騨高山ブラックブルズ岐阜との連携事業の実施 ・子ども夢創造事業の実施				
指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
活動指標	開催回数	回	目標値	90	100	100
			実績値	111	125	-
	算出根拠等		達成率(%)	123	125	-
成果指標	参加者数(のべ人数)	人	目標値	11,200	13,000	13,000
			実績値	11,227	13,482	-
	算出根拠等		達成率(%)	100	104	-
成果面			目標値			
			実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-
			目標値			
			実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-
			目標値			
			実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-
			目標値			
			実績値			-
	算出根拠等		達成率(%)			-
補足事項						
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額
	歳出(千円)		(A)	2,260	3,909	5,000
	受益者負担(使用料・負担金等)					
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)				500	
	一般財源			2,260	3,409	5,000
	受益者1件当たり(円)		(A÷B)	201	290	446
	コスト指標	受益者	参加者	(B)	11,227	13,482

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・生活様式の多様化や健康志向の高まりなどから、スポーツに対する市民のニーズは年々高まっている
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	B	・スポーツに親しむ環境をつくるため、市が事業主体となり、スポーツに親しむきっかけづくりやスポーツにふれる機会の拡充を図る必要がある ・市が事業主体となっている事業(子ども夢創造事業)について、団体等への委託を含めて見直しを図る必要がある
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	A	・活動及び成果指標の目標値を充分に達成している ・子どもたちを対象とした事業は、多くの参加者があり、スポーツに親しむきっかけづくりや、スポーツにふれる機会につながった
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・事業委託を増やすなど、コスト削減に努めた
			B (1)	事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・スポーツ教室等の開催を通じて、スポーツに親しむ機会が創出されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度の効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)		・費用対効果を考えて集客手法の工夫やPR効果考えた事業展開をする必要がある
--	--	---------------------------------------

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・市民ニーズに対応したスポーツ教室の開催等参加者の増加に努める必要がある ・子ども夢創造事業の効果分析を行う必要がある
-----------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・これまでのスポーツ教室等委託事業や子ども夢創造事業を継続し、安定したスポーツ環境の整備・充実に努める
-----------------	---

次年度の 実施方針 (担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・スポーツ教室やスポーツ大会等の開催によりスポーツ機会の充実を推進する				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・市民ニーズに対応したスポーツ教室の開催等、参加者の増加に努める必要がある。 ・子ども夢創造事業の効果分析を行う必要がある。				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		95110		スポーツ推進委員会事業費	担当課	市民活動部 スポーツ推進課			内線
		専任							2357
予算	会計	1	一般会計			総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費				分野	3	スポーツ
	項	5	保健体育費				基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	1	体育総務費				施策	1	スポーツ活動の充実
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画							
実施計画事業		スポーツ推進委員会事業							
市長公約									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういった状態にしたいのか(意図)	スポーツ基本法第32条に規定されているスポーツ推進委員活動を推進する		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ推進委員の活動経費		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		スポーツ推進委員の委嘱						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	
活動指標	スポーツ推進委員活動数(研修会含む)		回	目標値	60	60	60	
				実績値	69	68	-	
	算出根拠等			達成率(%)	115	113	-	
成果指標	活動延べ人数(研修会含む)		人	目標値	1,500	1,500	1,500	
				実績値	1,665	1,684	-	
	算出根拠等			達成率(%)	111	112	-	
成果面				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
	補足事項							
	コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
歳出 (千円) (A)			7,987	7,566	8,122			
財源内訳		受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			7,987	7,566	8,122	
コスト指標		受益者1件当たり(円) (A／B)			86	82	89	
		受益者	市民	(B)	92,861	92,097	91,605	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・市民の健康志向やスポーツニーズの高まりとともに、スポーツ推進委員に対して適正な指導・助言を求める声は高い ・スポーツ基本法の制定に伴い、地域スポーツ活動の推進体制のより一層の充実が求められており、スポーツ推進委員の役割はますます重要となっている
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・スポーツ基本法に基づく委員である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	B	・活動・成果指標の目標値を概ね達成している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・コストの大部分がスポーツ推進委員の報酬である
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・スポーツ推進委員の活動を通して、スポーツ参加機会の創出が図られるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・スポーツ推進委員と住民とのかかわりの充実を図る必要がある ・スポーツ推進委員のあり方について検討する必要がある
---------------------------------------	---

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・スポーツ基本法第32条に規定されているスポーツ推進委員活動を推進する
----------------------	-------------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・スポーツ推進委員の資質向上に向けた取り組み ・スポーツ推進委員のあり方についての検討
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	☐ H26完了予定
	・スポーツ推進委員活動を充実させることにより健康増進のためのスポーツ機会を創出する				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	☐ H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		95125		スポーツ少年団育成補助金	担当課	市民活動部 スポーツ推進課			内線
		番組							2357
予算	会計	1	一般会計			総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費				分野	3	スポーツ
	項	5	保健体育費				基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	1	体育総務費				施策	1	スポーツ活動の充実
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画							
実施計画事業		地域スポーツ活動推進事業							
市長公約									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	スポーツ少年団員	対象者数	1,710 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る		
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ少年団活動に対する支援		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		高山市スポーツ少年団に対する支援						
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	
活動指標	スポーツ少年団活動回数		回	目標値	27	27	27	
				実績値	26	21	-	
	算出根拠等			達成率(%)	96	78	-	
成果指標	スポーツ少年団員数		人	目標値	1,710	1,710	1,710	
				実績値	1,609	1,495	-	
	算出根拠等			達成率(%)	94	87	-	
成果面				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
	補足事項							
	コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
歳出 (千円) (A)			750	750	750			
財源内訳		受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			750	750	750	
コスト指標		受益者1件当たり(円) (A÷B)			466	502	439	
		受益者	団員	(B)	1,609	1,495	1,710	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・スポーツ少年団活動は、スポーツを通じた青少年の健全な育成を図るための重要な活動であり、市民ニーズは高い
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・少年期にスポーツ活動に取り組める環境を整備することは、青少年の健全育成はもとより、生涯スポーツ社会の実現の基礎を築くものであり、市がスポーツ少年団の活動を支援する必要がある
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・活動及び成果指標の目標値をやや下回った ・団員数減少は少子化の影響もあると考えられる
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	A	・支援方法として今後も定額支援を継続する
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・スポーツ少年団活動を通じて、子どもたちがスポーツ活動に取り組める環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度の効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題 (F)評価にするために何が必要なかを記入)	・人口減少や少子化の影響による団員数の減少や参加者数減少についてはある程度はやむを得ないところがあるため、目標値を見直す必要がある
--	---

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る ・スポーツ少年団活動の充実を図る
-----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・スポーツ少年団活動の維持継続のための定額支援を継続
-----------------	----------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・スポーツ活動を通じて、青少年の健全な育成を図る ・スポーツ少年団活動の維持・充実を図る				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・補助金の効果分析を行う必要がある。				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		95130		各種体育大会開催補助金	担当課		市民活動部 スポーツ推進課		内線
		番組							2357
予算	会計	1	一般会計	総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費		分野	3	スポーツ		
	項	5	保健体育費		基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる		
	目	1	体育総務費		施策	1	スポーツ活動の充実		
根拠計画				高山市第三次スポーツ振興基本計画					
実施計画事業				スポーツ大会開催事業・地域スポーツ活動推進事業					
市長公約									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	・全国レベルの大会をはじめ各種大会の誘致により、市民がスポーツにふれあい、取り組むきっかけをつくる ・全国から集う多くの選手に高山の魅力を発信するとともに、交流を促進し地域の活性化を推進する		
概要	事業の実施手法(手段)	飛騨高山社会人野球大会等の開催支援		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・飛騨高山社会人野球大会の開催					
		指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26
活動指標	大会開催数	回	目標値	2	1	1	
			実績値	2	1	-	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	-	
	観客数	人	目標値	1,200	500	500	
	実績値		1,200	500	-		
	算出根拠等		達成率(%)	100	100	-	
			目標値				
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
			目標値				
			実績値			-	
	算出根拠等		達成率(%)			-	
補足事項							

コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額
	歳出 (千円) (A)		6,450	850	450
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)			
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)	4,000		
		一般財源	2,450	850	450
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)	5,375	1,700	900
		受益者 観客 (B)	1,200	500	500

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・一流の競技スポーツにふれる機会を求める市民ニーズは高い ・大会誘致がもたらす経済効果に期待する声も大きい
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・全国レベルの大会の開催は、市民のスポーツに対する関心の高まりやスポーツに取り組むきっかけづくり、地域の活性化等の効果が期待されるため、市が主体となって誘致に取り組む必要がある
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	A	・活動、成果指標の目標値を十分に達成している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・全国レベルの大会の誘致を通じて、スポーツに関する意識が醸成されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成にある程度の効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・大会の継続開催を促進するための支援は今後も必要である ・大会出場選手への高山の魅力発信や市民と交流する機会の創出を推進する
--	---

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・補助金の効果分析を行い、今後のあり方について検討する必要がある
----------------------	----------------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・既存事業の開催のための支援継続
-----------------	------------------

次年度の実施方針(担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・スポーツの推進を図るため、今後長期にわたり、全国規模の大会を積極的に誘致する				

二次評価(企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・補助金の効果分析を行い、今後のあり方について検討する必要がある。				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		95135		体育総務事務費	担当課		市民活動部 スポーツ推進課		内線	
		番組							2357	
予算	会計	1	一般会計		総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費			分野	3	スポーツ		
	項	5	保健体育費			基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる		
	目	1	体育総務費			施策	1	スポーツ活動の充実		
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画								
実施計画事業										
市長公約										

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605	人
	どうい状態にしたいのか(意図)	高山市第三次スポーツ振興基本計画の着実な推進を図る			
概要	事業の実施手法(手段)	スポーツ推進事務			

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績		・スポーツ推進審議会の開催 ・全国大会等出場者への激励 ・スポーツイベント来高者に対するおもてなし対応				
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
	活動指標	全国大会等出場者数(激励)	人	目標値	300	300	300
				実績値	243	218	-
	算出根拠等	激励金の申請によって交付した人数		達成率(%)	81	73	-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
	補足事項						
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)		2,418	1,765	2,140		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)					
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)	141				
		一般財源	2,277	1,765	2,140		
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)		26	19	23	
		受益者	全国大会等出場者 (B)	92,861	92,097	91,605	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・生活様式の多様化や健康志向の高まりなどから、スポーツへの関心は市民ニーズは高い
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市や関係団体、市民等が一体となって、第三次スポーツ振興基本計画の着実な推進を図る必要があるため、市が事業主体であることは妥当である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	B	・近年、全国大会等出場者数は減少傾向にあるが、幅広い競技種目や年代に及んでおり、継続効果はあるものと判断する
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・各種取り組みを通じて、誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の推進にある程度の効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		7	/	10	→	100点換算	70	点
----	--	---	---	----	---	--------	----	---

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なかを記入)	・より一層のスポーツの普及や競技力の向上を図るため、専門的スポーツ指導者の育成や確保が必要である ・今後も市民意識高揚のため、スポーツの推進及び普及に努めていく必要がある
--	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・スポーツ指導者養成に向けた支援については、市体育協会との役割分担等に留意しながら検討する必要がある
----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・2020東京オリンピック・パラリンピック開催決定を契機とした更なるスポーツ活動の推進 ・高山市第四次スポーツ振興基本計画の策定 (第四次スポーツ振興基本計画は教育振興基本計画に包含して策定)
-----------------	--

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	・高山市教育振興基本計画に基づくスポーツ活動を推進する									

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。 ・スポーツ指導者養成に向けた支援については、市体育協会との役割分担等に留意しながら検討する必要がある。									

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		95230		体育施設維持管理費		担当課		市民活動部 スポーツ推進課		内線	
		番 号								2357	
予算	会計	1	一般会計			総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費				分野	3	スポーツ		
	項	5	保健体育費				基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる		
	目	2	体育施設費				施策	2	スポーツ施設の整備		
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画									
実施計画事業		スポーツ施設管理事業									
市長公約											

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	体育施設の適正な維持管理により、市民の利用を促進する		
概要	事業の実手法(手段)	指定管理者による施設の維持管理等		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		指定管理者による施設の維持管理等						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
成果指標	施設数		施設	目標値	64	64	64	
				実績値	64	64	-	
	算出根拠等			達成率(%)	100	100	-	
成果指標	利用者数		人	目標値	580,000	580,000	580,000	
				実績値	588,775	509,822	-	
	算出根拠等			達成率(%)	102	88	-	
成果面				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値			64	
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
	補足事項							
	コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
歳出 (千円) (A)			170,812	171,214	179,889			
財源内訳		受益者負担(使用料・負担金等)			916			
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			169,896	171,214	179,889	
コスト指標		受益者1件当たり(円) (A／B)			290	336	310	
		受益者	体育施設利用者 (B)		588,775	509,822	580,000	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・利用者が安全・安心して施設を利用するために適正な維持管理が必要である
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の維持管理である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	A	・指定管理者制度を導入し、適正な管理のもと、利用者が数も安定している
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度を導入し、利用者へのサービス向上、コスト縮減に努めている ・施設の統廃合について検討の余地がある
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・など、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の推進にある程度の効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		9 / 10	→	100点換算	90 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題 (「A」評価にするために何が 必要なかを記入)	・類似した施設や利用度の低い施設の統廃合について検討の余地がある ・利用期間の拡大など施設のより一層の利用促進を図る必要がある
--	--

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・体育施設の維持管理については、類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を視野に入れ、施設のあり方を検討していく必要がある
-----------------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する 今年度の対応状況	・施設の状況分析や利用者意見を反映した施設管理の改善・充実を図る
---------------------	----------------------------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	☐ 維持・改善	☐	☐ 拡大	☐	☐ 縮小	☐	☐ 廃止の検討	☐	H26完了予定
	・類似した施設や利用度の低い施設の地元譲渡や統廃合等をすすめる								

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐	☐ 拡大	☐	☐ 縮小	☐	☐ 廃止の検討	☐	H26完了予定
	・類似した施設や利用状況の低い施設の統廃合を視野に入れ、施設のあり方を検討していく必要がある。								

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		95235		夜間照明体育施設維持管理費	担当課	市民活動部 スポーツ推進課		内線
		専任						2357
予算	会計	1	一般会計		総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費			分野	3	スポーツ
	項	5	保健体育費			基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	2	体育施設費			施策	2	スポーツ施設の整備
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画						
実施計画事業		スポーツ施設管理事業						
市長公約								

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	地域の社会体育事業を促進するため、夜間におけるスポーツ活動環境を整備する		
概要	事業の実施手法(手段)	・小中学校グラウンドの夜間照明施設の維持管理		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・小中学校グラウンド夜間照明施設の維持管理 ・高等学校グラウンド夜間照明施設の利用						
指標名			単位	目標・実績	H24	H25	H26	
成果指標	利用者数		人	目標値	35,000	35,000	35,000	
				実績値	32,291	31,477	-	
	算出根拠等			達成率(%)	92	90	-	
成果面				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			2,533	2,493	2,730		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			2,533	2,493	2,730	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)			78	79	78	
		受益者	利用者	(B)	32,291	31,477	35,000	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・夜間にスポーツ活動をしたいという市民ニーズは高い
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の維持管理である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・利用期間の拡大を望む意見に対しての検討が必要である
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・利用期間外は通電停止を行うなどコスト縮減に努めている ・将来的には灯体のLED化による電力削減も検討
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・夜間におけるスポーツ環境が確保される等、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の目標達成に効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		8 / 10	→	100点換算	80 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題 (F)評価にするために何が必要なのかを記入)	・利用期間の拡大について検討する必要がある ・施設の老朽化に伴い、計画的な照明施設の修繕が必要である
---	---

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・施設のより一層の利用促進を図る ・第四次スポーツ振興基本計画の策定にあわせて中期的な照明施設の修繕計画を策定する
-----------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・施設の利用状況の把握分析 ・施設修繕計画に基づいた施設修繕
-----------------	-----------------------------------

次年度の実施方針 (担当課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	・施設のより一層の利用促進を図る(利用期間の拡大等の検討)				

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	☐ 維持・改善	☐ 拡大	☐ 縮小	☐ 廃止の検討	H26完了予定
	(担当課評価に同じ)				

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		95238		高地利ーニング強化拠点施設活用事業	担当課	市民活動部 スポーツ推進課			内線
		専任							2357
予算	会計	1	一般会計			総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして
	款	9	教育費				分野	3	スポーツ
	項	5	保健体育費				基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる
	目	2	体育施設費				施策	2	スポーツ施設の整備
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画							
実施計画事業		飛騨御嶽高原ナショナル高地利ーニングエリア推進事業							
市長公約									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どういう状態にしたいのか(意図)	ナショナルトレーニングセンター高地利ーニング強化拠点施設の指定を踏まえ、医学的サポート機能をはじめとするトレーニング環境を整備し、スポーツ振興と地域の活性化を促進する		
概要	事業の実手法(手段)	・高地利ーニング強化拠点活用事業の実施(国の委託事業) ・飛騨高山御嶽トレーニングセンターの維持管理 ・飛騨御嶽高原高地利ーニングエリアの利用促進		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・高地トレーニング強化拠点活用事業の実施(国の委託事業) ・飛騨高山御嶽トレーニングセンターの維持管理 ・飛騨御嶽高原高地トレーニングエリアの利用促進						
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	
	活動指標	利用者数	人	目標値	20,000	20,000	20,000	
				実績値	16,149	14,819	-	
				算出根拠等	達成率(%)	81	74	-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
				算出根拠等	達成率(%)			-
				目標値				
				実績値			-	
算出根拠等				達成率(%)			-	
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			18,051	19,382	23,862		
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)			1,836	2,198	1,850	
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)			2,441	2,247	15,000	
		一般財源			13,774	14,937	7,012	
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)			1,118	1,308	1,193	
		受益者	利用者	(B)	16,149	14,819	20,000	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・2020東京オリンピック・パラリンピックの開催決定を契機に、高地利ーニングに対する需要の高まりを受けて、国内外からの利用者受け入れ機能を高める必要がある
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・ナショナルトレーニングセンター高地利ーニング強化拠点施設の再指定を受け、県や下呂市、民間との連携を図りながら、市が主体的に取り組む必要がある
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあがっている	B	・エリア利用者数は目標に対して少なく、今後利用促進に努める ※H25は施設改修の影響で少なくなっている
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト削減等の改善の余地はない	B	・指定管理者制度の導入など検討の余地がある
			B (1)	事業効率化・コスト削減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	B	・飛騨御嶽高原高地利ーニングエリアの整備により、スポーツの振興と地域の活性化が図られるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の推進にある程度の効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		7 / 10	→	100点換算	70 点
----	--	--------	---	--------	------

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価にするために何が必要なのかを記入)	・2020東京オリンピック・パラリンピック開催決定を受けて高地利ーニング環境の更なる整備と利用促進を図る必要がある ・飛騨高山御嶽高地利ーニングセンターの指定管理制度導入の検討余地がある
---	--

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・高地利ーニング施設については、さらなる利用率の向上とコスト面における効率化をすすめる必要がある
-----------------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・高地利ーニングエリア環境の整備と利用促進 ・飛騨高山御嶽トレーニングセンターの指定管理制度導入の検討 ・国や県、JOC機関との連携強化
-----------------	--

次年度の実施方針 (担当課評価)	維持・改善	○	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了予定
	・高地利ーニング環境の更なる整備と利用促進を図る					

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	維持・改善	○	拡大	縮小	廃止の検討	H26完了予定
	・高地利ーニング施設については、さらなる利用率の向上とコスト面における効率化をすすめる必要がある。 ・整備計画を早急に策定する必要がある。					

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		95240		体育施設改修整備事業費	担当課	市民活動部 スポーツ推進課			内線
		専任							
予算	会計	1	一般会計		総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして	
	款	9	教育費			分野	3	スポーツ	
	項	5	保健体育費			基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる	
	目	2	体育施設費			施策	2	スポーツ施設の整備	
根拠計画			高山市第三次スポーツ振興基本計画						
実施計画事業			スポーツ施設整備事業						
市長公約									

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どうい状態にしたいのか(意図)	誰もが安全で快適に利用できるスポーツ環境を整備する		
概要	事業の実施手法(手段)	施設の改修整備		

2 事業の推移・結果(Do)

H25の実績		・中山公園陸上競技場施設整備工事、飛騨高山ビッグアリーナ2階通路改修工事ほか					
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
				目標値			
				実績値			-
	算出根拠等			達成率(%)			-
補足事項							
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	
	歳出 (千円) (A)			47,422	39,351	27,000	
	受益者負担(使用料・負担金等)						
	その他特定財源(国・県支出金・起債等)			11,025	4,400		
	一般財源			36,397	34,951	27,000	
	コスト 指標	受益者1件当たり(円) (A／B)		81	77	47	
		受益者	利用者 (B)	588,775	509,822	580,000	

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・施設の利便性の向上や安全性の確保に対する市民ニーズは高まっている
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の改修整備である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	評価対象外	・施設の改修整備事業であり、事業内容が多岐にわたるため、成果指標の設定が困難である
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減等を図りながら、計画的整備改修を行っている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・施設の改修整備により、利便性の向上や安全性の確保が図られるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の推進にある程度の効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		7	/	8	→	100点換算	88	点
----	--	---	---	---	---	--------	----	---

分析・評価で明らかにになった課題(FA)評価のために何が必要なかを記入)	・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けて、計画的に改修整備を行う必要がある
--------------------------------------	--

(参考) H25事業評価結果(二次評価)	・競技人口のバランスを配慮した施設整備を行う必要がある ・将来負担や財源を考慮した適正な施設修繕計画を策定する必要がある
----------------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・市民ニーズ、施設の利用状況、修繕の緊急性、非構造部材の耐震化等を踏まえた施設修繕計画の策定 ・施設の利便性の向上や安全性の確保に向けた改修整備
-----------------	---

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	・非構造部材の耐震診断結果及び国の指針等に基づいた適正な施設修繕計画を策定する ・施設修繕計画に基づき改修整備を実施する									

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	・競技人口のバランスを配慮した施設整備を行う必要がある。 ・将来負担や財源を考慮した適正な施設整備計画を早急に策定する必要がある。									

平成26年度事業評価シート(一般予算)

事業名		95245		体育施設管理事務費		担当課		市民活動部 スポーツ推進課		内線	
番組										2357	
予算	会計	1	一般会計			総合計画	政策	5	「ゆたかさ」のあるまちをめざして		
	款	9	教育費				分野	3	スポーツ		
	項	5	保健体育費				基本施策	1	誰もが生涯を通じてスポーツに親しむことのできる環境をつくる		
	目	2	体育施設費				施策	2	スポーツ施設の整備		
根拠計画		高山市第三次スポーツ振興基本計画									
実施計画事業		スポーツ施設管理事業									
市長公約											

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	全市民	対象者数	91,605 人
	どうい状態にしたいのか(意図)	体育施設を適正に管理運営する		
概要	事業の実施手法(手段)	管理事務		

2 事業の推移・結果(Do)

成果面	H25の実績		・管理事務費 ・公衆便所清掃委託					
	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
	算出根拠等			達成率(%)			-	
				目標値				
				実績値			-	
算出根拠等			達成率(%)			-		
補足事項								
コスト面	事業費 (人件費を除き繰越・補正を含む)			H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額		
	歳出 (千円) (A)			8,820	3,838		412	
	財源内訳	受益者負担(使用料・負担金等)						
		その他特定財源(国・県支出金・起債等)						
		一般財源			8,820	3,838		412
	コスト指標	受益者1件当たり(円) (A／B)			95	42		4
		受益者	市民	(B)	92,861	92,097		91,605

3 分析・評価(Check) ※平成25年度の実績を評価

評価項目		評価観点	評価基準		評価	評価内容の説明(評価の理由等)
①	市民ニーズの確認	・事業実施に対する市民ニーズの傾向はどうか ・社会情勢の変化など時の経過に伴いニーズは減少していないか	A (2)	ニーズが高い	A	・施設の利用促進を図り、市民の健康増進を図るためには、適正な維持管理が必要である
			B (1)	ある程度のニーズがある		
			C (0)	ニーズが低い		
②	市が実施する必要性	・市が事業主体であることは妥当か ・国・県・民間の活動と競合していないか	A (2)	事業主体を見直す余地はない	A	・市有施設の管理事務である
			B (1)	一部見直しが必要である		
			C (0)	市が実施する必要性が低い		
③	活動内容の有効性	・目的とする成果があがっているか ・成果指標などの目標値の達成状況はどうか	A (2)	目的とする成果が十分にあげている	評価対象外	・施設の管理事務であり、活動及び成果指標の設定が困難である
			B (1)	目的とする成果がある程度あがっている		
			C (0)	目的とする成果があがっていないため大幅な見直しが必要である		
④	執行方法の効率性	・最小限のコストで事業を実施できているか ・委託化など事業の効率化・省力化に向け実施手法に改善の余地はないか ・国等の補助金の活用など市の財政負担を軽減する余地はないか ・受益者負担は適正か	A (2)	事業効率化・コスト縮減等の改善の余地はない	B	・コスト縮減に努めている
			B (1)	事業効率化・コスト縮減等がある程度図られている		
			C (0)	効率化が図られていないため大幅な見直しが必要である		
⑤	政策面における効果	・事業の実施が市の政策、施策の推進に効果があったか ・総合計画及び主要計画等の目標達成を図る上で有効に機能したか ・市長公約の実現を図る上で有効に機能したか	A (2)	効果があった	A	・適正な管理運営により、安全で安心して利用できるスポーツ環境が整備されるなど、総合計画及び第三次スポーツ振興基本計画の推進に効果があった
			B (1)	ある程度効果があった		
			C (0)	あまり効果が見られなかった		

合計		7	/	8	→	100点換算	88	点
----	--	---	---	---	---	--------	----	---

分析・評価で明らかにになった課題 (F)評価のために何が必要なかを記入)	・コスト縮減を図りながら、施設を適正に管理する必要がある
--------------------------------------	------------------------------

(参考) H25事業評価結果 (二次評価)	・コスト縮減を図りながら、施設を適正に管理する
-----------------------	-------------------------

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する今年度の対応状況	・施設を適正に管理する
-----------------	-------------

次年度の 実施方針 (担当課評価)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定
	・コスト縮減を図りながら、施設を適正に管理する									

二次評価 (企画課・総務課・財政課評価) (担当課評価に同じ)	○	維持・改善		拡大		縮小		廃止の検討		H26完了予定